

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

## ♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。能登半島地震の影響もあり、県教育文化会館を会場として使わせていただいています。今後も変更がある場合がありますので、

参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

08 月 23 日 (第 4 土曜日) 第 294 回例会 13:30

富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館 502 号研修室

09 月 20 日 (第 3 土曜日) 第 295 回例会 13:30 富山県教育文化会館 502 号研修室

10 月 18 日 (第 3 土曜日) 第 296 回例会 13:00 富山県教育文化会館 501 号研修室

高岡つくしの会との合同例会 講師は(一社)SHIP!代表理事、ジャーナリスト 池上正樹さんです。

11 月 15 日 (第 3 土曜日) 第 297 回例会 13:30 富山県教育文化会館 部屋未定

\*\*\*\*\*

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について … 会館近く北東側に会館の駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所、福祉総合相談センター等で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>

本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

## ♪ 7 月例会報告

日 時: 7 月 19 (土) 13:30~15:45 富山県教育文化会館 502 号室

参加者: 19 名 (男性 8 名 {内体験者 2 名}、女性 11 名 {内体験者 1 名}) のご参加がありました。

例会の始めに、H さんのハーモニカ演奏にあわせ、『夕焼け子焼け』『海』『浜辺の歌』3 曲を皆で歌いました。

### I あいさつと諸連絡

猛暑の中、沢山集まっていたいただき有難うございます。今年の夏は、今までの人生の中で一番暑いのではと感じています。今日は、冷房の効いた部屋で語り合い、快適に過ごし、少しでも心が和む例会にできたらと思います。今日の例会には、皆様からの要望が多かった、浦本さんに来ていただき、ご講演をお願いしています。

### II ミニ講演

『 実際の後見活動について 』

【講師】とも社会福祉事務所 所長 浦本容子さん

#### 1. 現在の活動(後見活動)

後見類型として補助、保佐、後見がある。後見活動の中には知的障害、精神障害、認知症等の診断の方、その他には身体障害の方もいるが、基準として判断能力が低下して自分で手続きができないなどの理由がある。

現在担当しているのは生活保護受給、住民税非課税の対象者がほとんど。4 身等以内の親族か、福祉サービスの利用ができない方や、つながりの弱い方は市町村が申し立てをする場合もある。

## 2. 実際の後見活動について

一人暮らしの場合はハプニングがあった時に介入し、相談した地域包括センターの方とつながり、成年後見制度につながったケース、家族がヘルパーにつながっていたことで、1人暮らしになっても介入できた場合もある。

## 3. 社会とのつながりの弱い方が成年後見制度の利用を検討することについて

裁判所としては「医師の診断書」をもとに診断、「つながりの弱さ」を診断書にどのように記載してもらうか。補助・保佐の場合は本人の同意が必要。補助・保佐の場合は裁判所の調査官が本人に面談し申し立ての意思を確認。

富山県社会福祉士会では成年後見制度を利用している方には月に1回必ず会いに行くことになっているが、利用者さん個々の事情に応じて、それに加えて、サポートの為の訪問や電話等でつながりを大切にしている。

## 4. その他

成年後見人をつけるタイミングはその時が来たら、成年後見人の候補者については兄や従妹でも可能であるが、裁判所が適しているか判断するため、生活や財産の状況等によっては、社会福祉士ではなく行政書士など、他の専門職を裁判所が決める。成年後見人は弁護士や司法書士、社会福祉士などが多い。家族と成年後見人の関係は、基本的に後見人は被後見人（ご本人）と関わり、医療にかかわる事案が発生した時などに、ご家族と協力することになる。

**質問：**ひきこもりの場合医療につながることも難しい。医者は嫌だと本人が言うがどうしたらいいか

→医者ではなく相談窓口に来ている医師に診断書について相談してみる。また家族が元気なうちから相談窓口を活用し相談しておくこと、社会とのつながりを持っておくことでいざとなった時に行政等からつながることもできるので、親や兄弟がつながっておくことが大切。

\*他にも多数の質問が寄せられました。

## Ⅲ グループ交流



### A班（10名）

- ・ひきこもる子が生活しやすい家になるよう、自宅のリフォームをしている。
- ・息子と父親の仲が悪い。話ができない、母には話ができる。  
⇒父親として同じような時期があったが、少しずつ関係が変わってきた。
- ・息子が居場所につながり、最初は掃除などできることを手伝っていた。今は短時間で仕事ができるようになった。当事者とのつながりがある、この会の当事者ともつながりがあった事は驚いた。
- ・今日の講演をお聞きしてつながりって大切だと思った。ひきこもっている方が成年後見人とつながるためには親が大地の会や相談窓口とつながっておくことで親に何かあった時に周りが気づけることになると思った。ここで皆さんといろいろと話ができるご縁があってありがたい。
- ・息子と外に出る機会も増えた。少しずつだけど、親と一緒にできることも増えてきた。
- ・(体験者) 仕事が嫌な時もあるが、推し活で色々な人と出会ってつながっている。

### B班（9名） 近況について

- ・(体験者) 昨年度末でアルバイトを一旦終了しました。その後、求人情報誌で、内容が良さそうな募集がありました。倍率の高さが心配になり、応募を諦めました。いずれその情報誌で就業の足掛かりとしたいと思っています。
- ・子に、保険のことや光熱費の口座などを話しました。話したことで気が楽になりました。
- ・先日、生活支援の会に参加しました。「何を知りたいか？」をメモにし、それを役所で調べていただきました。秋に2回目の会があります。いろんな情報を知ることが出来、有難いと思っています。
- ・子が昨秋からひきこもりになった。今は親子のコミュニケーションがとれていない。私は早く何とかしたく、行政などに相談に行っています。  
⇒ 大地の会に遠慮なく相談して下さい。有資格者や経験者が力になってくれます。富山保健所や、県の心の健康センターでは家族相談会を行っています。  
⇒ 私(体験者)は大地の会は自分で調べ参加しました。親が社会復帰を急げば、本人があせり逆に難しくなる。・・・本人にとって、社会参加のゲートは高いものです。

## Ⅳ その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみ;

体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。

## 2 投稿欄について

会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

### 富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

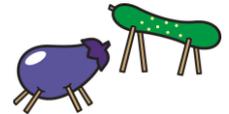
グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

## V 高岡つくしの会より（2003年設立）



8月 月例会 8月10日（日）高岡市博労公民館 1：30より

※8月はおとぎの森例会は開催しません。

## VI 書籍・論文の紹介 『こころの科学 236 2024.7 特別企画「親なき後」に悩むとき』日本評論社 特別企画編集 青木省三ほか

『こころの科学』は心理臨床、精神医療、教育、福祉等の領域で対人援助にかかわる人、「こころ」に関心のある一般の人を読者対象とする学術教養誌です。

今号では、特に、竹浦さん、池上さんの報文が、私には印象に残りました。（やま）

『「ひきこもり」の困難と、小さな居場所』 竹浦秀忠（「ひきこもり」当事者）

『ひきこもり当事者の家族が 今、できること —「親なき後」を見据えて』  
池上正樹（KHJ全国ひきこもり家族会連合会 ジャーナリスト）